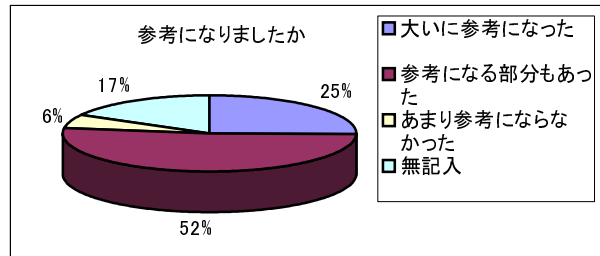


平成23年度放課後児童クラブ指導員・放課後子ども教室安全管理員等研修会アンケート結果

項目	内容
1 日時	平成23年7月1日(金) 9時30分から16時まで(西部会場) 平成23年7月4日(月) 9時30分から16時まで(東部会場)
2 会場	広島県情報プラザ(西部会場) 広島県福山庁舎第3庁舎(東部会場)
3 参加者 ①参加人数 ②職種	148名(放課後子ども教室関係86名, 放課後児童クラブ関係62名) アンケート回収: 119名 回収率: 80.4% ○放課後子ども教室安全管理員・学習アドバイザー等…71名 ○放課後児童クラブ指導員…48名 ○市町教育委員会等放課後子ども教室担当者…15名 ○市町放課後児童対策担当者…2名 ○児童館職員…6名 ○子育てサークル支援者…5名 ○その他…1名
4 研修内容	○行政説明:「放課後の児童対策について」 説明者: 広島県こども家庭課職員 ○講義1・実技:「日常的に起こりうるけがや事故への適切な対応法」 (応急手当・救命措置) 講師: 日本赤十字社広島県支部事業課 救急法指導員・幼児安全法指導員 阿部 直美 ○講義2:「放課後における子どもの犯罪被害の防止」 講師: 福山大学人間文化学部心理学科 教授 平 伸二 ○講義3:「幼少期のサバイバル的創造力を考える」 講師: 造形作家・「Groupサンタラ」亀井 由美子

参考になりましたか	行政説明
大いに参考になった	30
参考になる部分もあった	62
あまり参考にならなかった	7
無記入	20

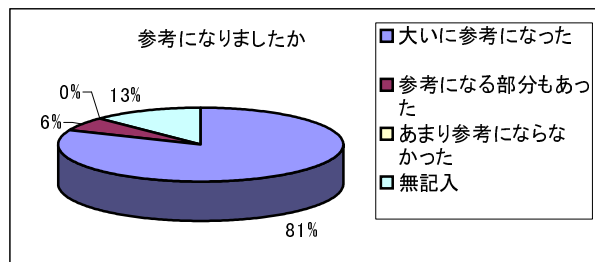


■主な感想

○各関係機関の連携が重要だと再認識した。
○放課後児童クラブと放課後子ども教室のことなど、初めて知ったことが多かったので良かった。
○日常、身近に子どもを見る立場から、情報提供をしなければいけない場面があることなど改めて意識できた。
○子どもたちを安全な所で見守る放課後児童クラブの重要性が分かった。児童虐待の早期発見など、いつも注意していなければならないと感じた。
○地域と環境によって色々と子どもたちの関わり方が年々違ってきている事が良く分かった。
○少子化になったにもかかわらず放課後児童は増加している。安心と安全を求める保護者が多くなったのを感じる。

参考になりましたか 講義1・実習

大いに参考になった	97
参考になる部分もあった	7
あまり参考にならなかった	0
無記入	15

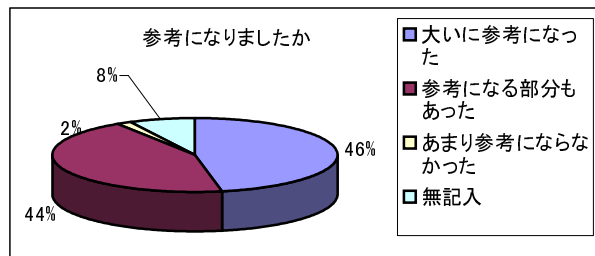


■主な感想

- 今日の研修を放課後子ども教室の安全管理員等に伝え、市町で実習を実施したい。
- 応急手当・救命措置は毎年受講しないとマスターできないと思うのでこれからも機会があるごとに受けたいと思った。
- 心肺蘇生について、実際のケースで起こりうる例をたくさん挙げて頂いたのが、とてもイメージがわきやすかった。また、実習を1回でなく2回ずつさせて頂いたので、だいぶん手順を覚えることができた。
- 日常起こる可能性があるけが等の処置の仕方など詳しく聞けて良かった。実技があったことはとても分かりやすかった。
- けがや事故はあってはならないけど必ず起こる環境にあるので、実際に体験できて良かった。子どもだけではなく大人にも活用できるのでとても参考になった。
- 実際に起こったことはないが、実習をしているのといないのとは全く違うと思う。落ちついてやれるように努力したい。

参考になりましたか 講義2

大いに参考になった	56
参考になる部分もあった	52
あまり参考にならなかった	2
無記入	9

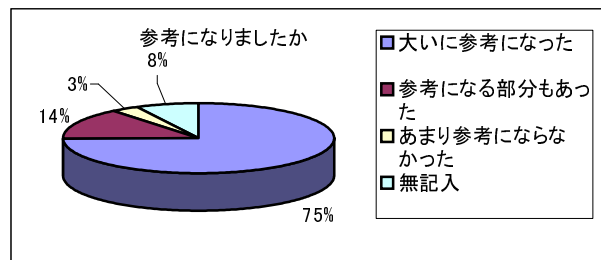


■主な感想

- 地域との連携を密にすることによって犯罪を防げるということでこれからも地域の方とつながりを大事にしていきたいと思った。
- 私もどちらかというと「子どもを守る」ことに重きを置いて考えていたが、子どもたち自身も参加して安全に生活できる環境を作っていくことが大切だと思うようになった。
- 犯罪を防止するために私たちはどう行動して行けば良いか、とても分かりやすく話を聞かせて頂いた。
- 犯罪の起きる時や時間などが分かったので、これから犯罪を予防するためにいい勉強になった。
- 子どもたちをまきこんで安全(自分の身を守る手段)を考えていきたい。(安全マップのつくり方をもう少し勉強したいと思った。)
- 防犯に無関心だと受けとられない様に、関心がある！という事を前面に出すようにしながら子どもたちを見守っていきたいと思った。

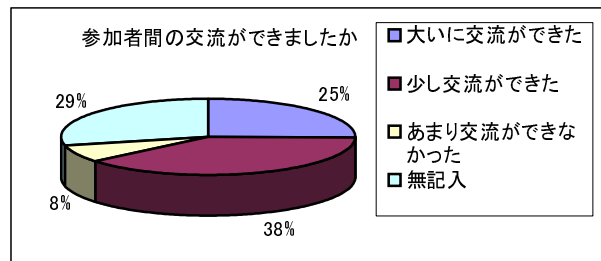
参考になりましたか 講義3

大いに参考になった	89
参考になる部分もあった	17
あまり参考にならなかった	4
無記入	9



参加者間の交流ができましたか 講義3

大いに交流ができた	30
少し交流ができた	46
あまり交流ができなかった	9
無記入	34



■主な感想

- 材料がなくても、ティッシュや新聞紙をつかって、いっぱい遊べると思った。いろいろ工夫をしてもっといろんな遊びを考えて、子どもたちとふれ合っていこうと思った。
- 製作をまじえての講義はとても参考になった。”子どもを認める事”を大切にやっていきたいと思った。
- 身のまわりのありふれたものから、発想を豊かに工作ができることを実感できた。
- 色々な物を使って色々作る事によって、楽しく子どもの手先をきたえる事になるかなと思った。作るのに時間をかけても子どもが出来るまで待つ事が大事という事も分かった。子ども達一人一人の個性が出せるようにしたいと思った。
- エコと工作を一緒にできるということは、子どもたちに教えていく大切な事だと感じた。
- 限られた物で工夫して作る楽しさがとても重要ということを感じた。つねに大人が準備してしまうのではなく、子どもたちが考えて遊ぶことが必要だということを感じた。

アンケート回答状況

回答	119
未回答	29

